

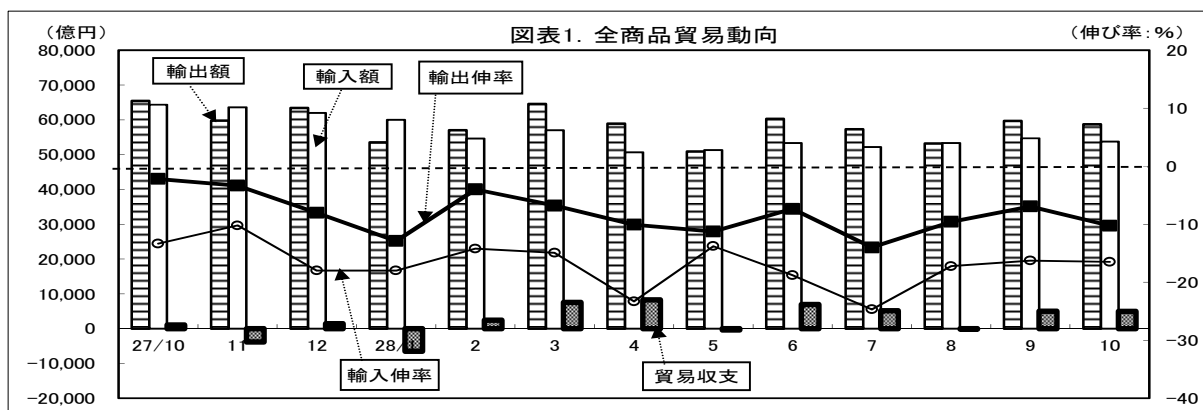
## 「最近の機械貿易動向(10月)～機械輸出伸び率13ヶ月連続マイナス～」

日本機械輸出組合 2016.12.22.

平成28年10月の機械輸出額は3兆8,662億円、対前年同月比9.9%減と、13ヶ月連続でマイナスとなった。これは、①韓国・台湾向けを除いた5地域向けで伸び率がマイナスとなったこと、②自動車、電子デバイス、軽電気機械等主要な21輸出業種のほとんどがマイナスとなったことなどによる。為替・営業日要因が12.9%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は3.4%増と3ヶ月ぶりのプラスとなった。平成28年11月の為替・営業日要因は2.7%の減少寄与要因となっているが、12月19日発表の貿易統計速報による簡易計算では11月の機械輸出は0.5%減であった。

### 1. 全商品貿易動向～輸出は13ヶ月連続、輸入は22ヶ月連続でマイナス～

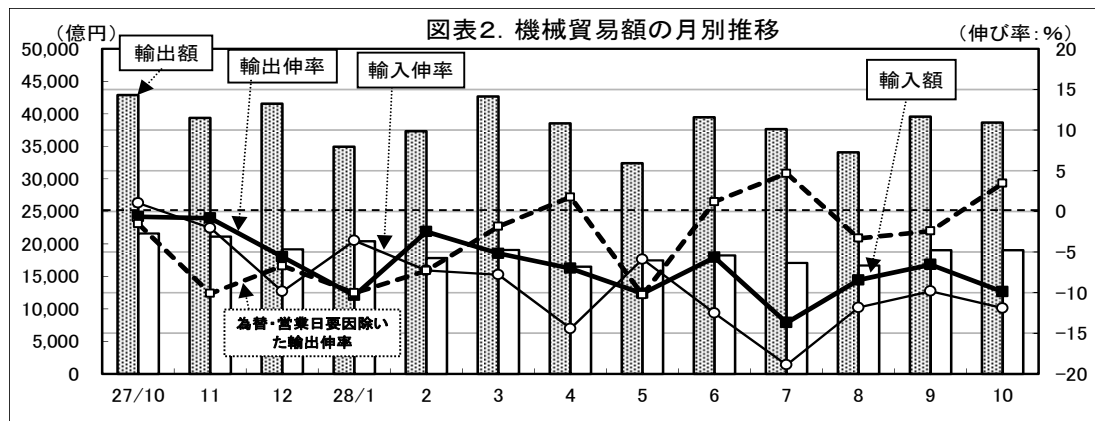
- 平成28年10月の全商品輸出額は**5兆8,704億円**、前年同月比(以下同じ)**10.3%減**と13ヶ月連続でマイナスとなった(9月6.9%減)。これは、全輸出額の約11%を占める鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(15.2%減)、25%の輸送用機器(9.0%減)、18%の電気機器(10.9%減)等が大きくマイナスとなったためである。
- 輸入額は**5兆3,744億円**、**16.5%減**と22ヶ月連続でマイナスとなった(9月16.3%減)。これは、全輸入額の約17%を占める原粗油等鉱物性燃料(27.5%減)が原油価格下落等で大幅に減少したことに加え、19%を占める電気機器(10.4%減)、医薬品等化学製品(11.2%減)、原料別製品(13.6%減)、一般機械(11.7%減)等が大きく減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、4,960億円と2ヶ月連続の黒字となった。(9月は4,976億円の黒字)。



## 2. 機械貿易動向

### (1) 機械輸出入動向～輸出は13ヶ月連続でマイナス～

- 全商品輸出額の約66%を占める10月の機械輸出額は**3兆8,662億円**、**9.9%減**と13ヶ月連続でマイナスとなり(9月6.6%減)、その水準は、リーマンショック前(2007年10月)と比べると**75.0%**となって、前月に比べて3.8ポイント悪化した(9月78.8%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は3.4%増**であった。
- 一方、全商品輸入額の約35%を占める機械輸入額は、**1兆9,037億円**、**11.9%減**と12ヶ月連続でマイナスとなった(9月9.9%減)。ただし、リーマンショック前(2007年10月)の水準に比べ、7.2%増となっている。

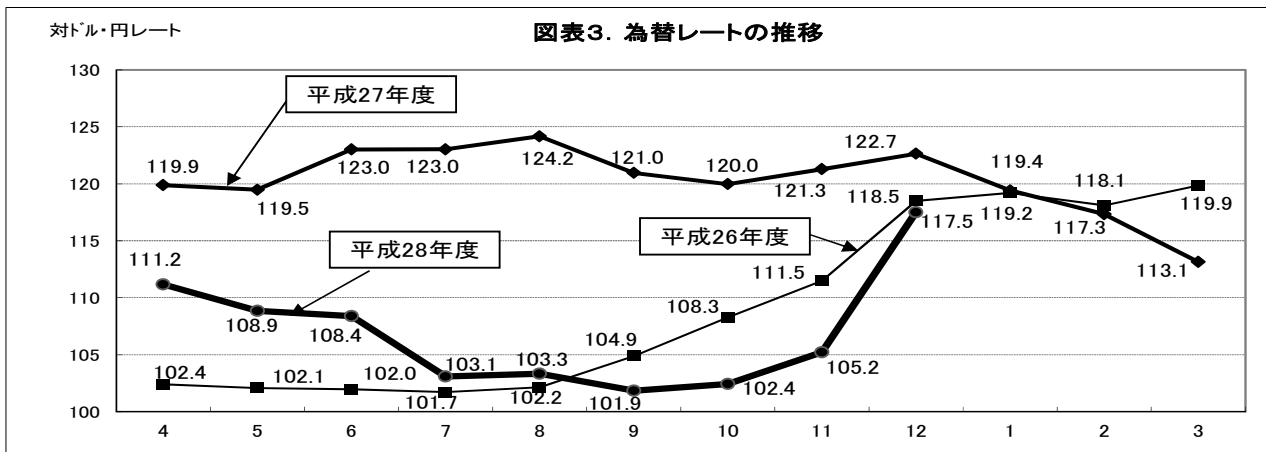


**(2) 為替・営業日動向～10月は12.9%の減少要因、11月は約2.7%の減少要因～**

1) 10月は1ドル＝102.4円となり、前年に比べ14.7%の円高となった。また、対ユーロは114.3円と前年に対して15.4%の円高となり、合わせて約8.5%の為替減少要因となった。営業日は前年より1日少ないため、4.8%の減少要因となり、合計で約12.9%の減少要因となる。10月の輸出額は9.9%減であったことから、実質的伸び率は3.4%増と3ヶ月ぶりでプラスとなった(9月2.4%減)。

2) 11月は1ドル＝105.2円で前年比13.3%の円高、対ユーロでは114.9円で前年比13.7%の円高となり、合わせて約7.6%の為替減少要因となった。営業日は前年より1日多いため、5.3%の増加要因となり、合計で約2.7%の減少要因となる。

3) 12月は、対ドルが12月21日17:00時点の117.5円とすれば、前年に比べて4.2%の円高、また、対ユーロは122.3円で7.3%の円高となり、合わせると約2.6%の為替減少要因となる。営業日は前年と同じため、合計で約2.6%の減少要因となる。



**(3) 地域別動向～韓国・台湾向けを除き、5地域向けで伸び率がマイナス～**

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の26.2%を占める最大輸出先の北米向けでは、全体の54%を占める自動車(3.9%減)をはじめ、産業機械(9.6%減)や航空機部品(21.6%減)等が減少して9.5%減となった。②21.0%を占める中国向けでは、軽電気機械(15.1%減)、光学機械(16.4%減)、民生用電子機械(17.4%減)等が大きくマイナスとなって11.1%減となり、③14.3%のASEAN・南アジア向けは、シンガポール(28.4%減)、タイ(11.4%減)、マレーシア(10.5%減)、インド(10.3%減)が二桁のマイナスとなり、業種では、船舶(71.5%減)が大きく減少したことをはじめ、全体の26%を占める自動車(13.7%減)、産業機械(8.1%減)、重電気機械(10.2%減)等がマイナスとなって10.9%減となった。④12.1%を占めるEU向けは、38%を占める自動車(3.7%減)をはじめ、産業機械(22.4%減)、理化学用機器等軽機械(12.4%減)等が大きくマイナスとなって、9.7%減となり、⑤10.6%を占める韓国・台湾向けは19%を占める電子デバイス(8.6%減)等がマイナスとなったものの、半導体製造装置等産業機械(23.2%増)、自動車(9.1%増)等が増加して1.7%増となった。⑥15.9%のその他地域向けでは、ロシア東欧(3.8%増)向けがプラスとなったものの、中近東(28.2%減)、アフリカ(19.9%減)、中南米(12.6%減)向け等が二桁のマイナスとなり、機種では、63%を占める自動車(17.6%減)や船舶(1.5%減)等がマイナスとなって14.5%減となった。

2) また、リーマンショック前の2007年10月の地域別輸出額と比較すると、100%を超えた地域はなく、韓国・台湾向けが90%台、ASEAN・南アジア、中国向けが80%台、北米向けが70%台、その他地域向けが60%台、EU向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2016/8			2016/9			2016/10			対07年 10月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	34,100	▲ 8.4	100.0	39,550	▲ 6.6	100.0	38,662	▲ 9.9	100.0	0.75
北米	8,042	▲ 13.5	23.6	9,985	▲ 7.6	25.2	10,116	▲ 9.5	26.2	0.77
中国	7,393	▲ 9.3	21.7	7,813	▲ 12.8	19.8	8,115	▲ 11.1	21.0	0.88
ASEAN・南アジア	5,298	▲ 7.7	15.5	5,784	▲ 8.3	14.6	5,521	▲ 10.9	14.3	0.89
EU	4,064	▲ 0.9	11.9	4,732	▲ 3.3	12.0	4,665	▲ 9.7	12.1	0.54
韓国・台湾	3,829	3.1	11.2	4,244	8.6	10.7	4,090	1.7	10.6	0.90
その他	5,474	▲ 12.1	16.1	6,992	▲ 6.2	17.7	6,155	▲ 14.5	15.9	0.63

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2016/7		2016/8		2016/9		2016/10	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,919	▲ 4.2	1,850	7.4	2,086	9.3	2,027	2.4
台湾	1,929	▲ 11.9	1,979	▲ 0.7	2,158	7.9	2,062	0.9
<b>ASEAN・南アジア</b>								
タイ	1,455	▲ 18.0	1,367	▲ 8.5	1,532	▲ 10.0	1,514	▲ 11.4
シンガポール	870	▲ 1.8	874	▲ 4.7	795	▲ 26.7	718	▲ 28.4
インドネシア	627	▲ 10.6	573	▲ 14.5	661	▲ 0.2	600	1.5
マレーシア	654	▲ 15.8	553	▲ 17.6	635	▲ 4.5	618	▲ 10.5
フィリピン	652	5.1	625	9.4	645	▲ 0.8	639	▲ 0.4
ベトナム	629	▲ 6.8	576	▲ 8.8	628	▲ 3.6	679	3.7
インド	418	▲ 0.5	421	13.9	484	21.6	370	▲ 10.3
パキスタン	124	▲ 9.4	127	▲ 3.5	156	15.9	158	▲ 4.7
<b>その他地域</b>								
中南米	1,548	▲ 35.2	1,609	▲ 18.3	2,346	1.5	1,771	▲ 12.6
中近東	1,471	▲ 32.3	1,574	▲ 13.5	2,066	▲ 11.3	1,757	▲ 28.2
大洋州	1,298	▲ 21.1	1,021	▲ 10.2	1,098	▲ 12.9	1,211	▲ 2.9
ロシア東欧等	1,003	18.7	820	21.5	945	▲ 1.0	987	3.8
アフリカ	521	▲ 20.0	465	▲ 21.4	525	▲ 14.0	467	▲ 19.9

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中1業種がプラス。二桁減は13業種～

- 1)業種別では、21業種中1業種がプラスとなり、9月に比べて2業種減った。プラスとなったのは鉄道車両(1.9倍)のみであり、37%を占める自動車(8.6%減)をはじめ、他の20業種がマイナスとなり、そのうち13業種が二桁減であった。この結果、機械全体で9.9%減となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは鉄道車両、航空機部品、軽機械、医療機械、ベアリングの5業種のみであり(9月は4業種)、他方、電子計算機、民生用電子機械が30%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2016/8			2016/9			2016/10			対07/10比		
	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額		伸び率	シェア
自動車	11,534	▲ 7.0	33.8	自動車	14,608	▲ 5.4	36.9	自動車	14,410	▲ 8.6	37.3	0.78
産業機械	6,395	▲ 2.3	18.8	産業機械	6,669	3.2	16.9	産業機械	6,723	▲ 2.4	17.4	0.93
電子デバイス	2,948	▲ 12.3	8.6	電子デバイス	3,156	▲ 11.8	8.0	電子デバイス	3,161	▲ 7.1	8.2	0.69
軽電気機械	1,861	▲ 7.3	5.5	軽電気機械	2,063	▲ 6.9	5.2	軽電気機械	2,030	▲ 10.1	5.3	0.77
重電気機械	1,682	▲ 9.5	4.9	重電気機械	1,876	▲ 3.1	4.7	重電気機械	1,880	▲ 9.6	4.9	0.86
軽機械	1,415	▲ 7.3	4.1	軽機械	1,561	▲ 6.5	3.9	軽機械	1,527	▲ 12.5	3.9	1.10
民生用電子機械	1,336	▲ 11.8	3.9	民生用電子機械	1,415	▲ 16.4	3.6	民生用電子機械	1,408	▲ 18.8	3.6	0.33
光学機械	1,084	▲ 17.3	3.2	船舶	1,415	▲ 7.6	3.6	光学機械	1,236	▲ 14.6	3.2	0.91
船舶	988	▲ 10.6	2.9	光学機械	1,279	▲ 10.6	3.2	船舶	1,011	▲ 14.6	2.6	0.54
建設機械	771	▲ 6.5	2.3	建設機械	903	▲ 5.0	2.3	建設機械	848	▲ 1.5	2.2	0.63
航空機部品	626	▲ 12.1	1.8	航空機部品	700	▲ 8.8	1.8	航空機部品	681	▲ 19.5	1.8	1.53
工作機械	550	▲ 26.6	1.6	工作機械	643	▲ 17.5	1.6	通信機械	615	▲ 32.2	1.6	0.63
通信機械	536	▲ 8.5	1.6	通信機械	617	▲ 29.5	1.6	工作機械	554	▲ 28.7	1.4	0.63
電子計算機	391	▲ 12.9	1.1	電子計算機	459	▲ 6.5	1.2	電子計算機	409	▲ 19.9	1.1	0.30
医療機械	387	▲ 5.4	1.1	医療機械	450	▲ 15.0	1.1	医療機械	427	▲ 5.2	1.1	1.03
ベアリング	319	▲ 14.7	0.9	ベアリング	368	▲ 5.6	0.9	ベアリング	361	▲ 16.1	0.9	1.01
陸用内燃機関	295	▲ 10.3	0.9	陸用内燃機関	339	▲ 6.3	0.9	陸用内燃機関	312	▲ 10.3	0.8	0.75
繊維機械	149	▲ 15.0	0.4	繊維機械	176	5.7	0.4	繊維機械	175	▲ 6.0	0.5	0.63
農業機械	133	▲ 36.0	0.4	農業機械	151	▲ 35.6	0.4	農業機械	174	▲ 33.0	0.5	0.91
産業車両	98	▲ 10.6	0.3	鉄道車両	118	6.6	0.3	鉄道車両	120	85.6	0.3	1.77
鉄道車両	90	▲ 21.3	0.3	産業車両	100	▲ 28.7	0.3	産業車両	111	▲ 22.1	0.3	0.50
21業種合計	33,588		98.5	21業種合計	38,964		98.5	21業種合計	38,062		98.4	0.75

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器

・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5)機種別動向～EU 向け鉄道車両が大幅増、通信機械部分品等が大幅減～

- 1)10%以上の伸び率を示した機種は2機種(前月と同じ)で、①EU 特に英国向けが大きく伸びた**鉄道車両**(85.6%増)、②韓国・台湾、特に韓国向けが大きく伸びた**半導体製造装置**(35.5%増)であった。  
 2)一方、通信機械部分品(41.1%減)、発電機(35.1%減)をはじめ、マイナス伸び率上位10機種すべてが20%以上の大幅な減少であった(4ヶ月連続)。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2016/8			2016/9			2016/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
半導体製造装置	1,732	29.7	半導体製造装置	1,679	29.7	鉄道車両	120	85.6
通信機械部分品	275	10.3	電動機	142	10.0	半導体製造装置	1,618	35.5
機種合計	2,007	* 5.9%	機種合計	1,821	* 4.6%	機種合計	1,738	* 4.5%

は、2ヶ月連続で上位機種 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター

その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電気機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2016/8			2016/9			2016/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	54	▲ 43.5	通信機械部分品	289	▲ 42.8	通信機械部分品	299	▲ 41.1
受信変換その他送受信機器	104	▲ 37.4	磁気カード・ディスク等	119	▲ 40.8	発電機	69	▲ 35.1
農業機械	133	▲ 36.0	農業機械	151	▲ 35.6	農業機械	174	▲ 33.0
磁気カード・ディスク等	122	▲ 35.4	産業車両	100	▲ 28.7	磁気カード・ディスク等	142	▲ 33.0
TV	84	▲ 28.2	写真機の部分品・附属品	111	▲ 25.6	受信変換その他送受信機器	125	▲ 32.8
貨物自動車	617	▲ 27.6	発電機	88	▲ 25.3	貨物自動車	680	▲ 29.6
工作機械	550	▲ 26.6	時計	83	▲ 25.1	工作機械	554	▲ 28.7
印刷・製本機械	740	▲ 25.2	TV	96	▲ 22.9	ベアリング	361	▲ 25.1
写真機の部分品・附属品	99	▲ 23.6	貨物自動車	774	▲ 21.1	時計	84	▲ 25.1
鉄道車両	90	▲ 21.3	受信変換その他送受信機器	143	▲ 20.2	金属加工機械	231	▲ 24.6
機種合計	2,593	* 7.6%	機種合計	1,954	* 4.9%	機種合計	2,719	* 7.0%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6)機械輸入動向～電子デバイス、電子計算機等が大きく減少～

- 1)10月の機械輸入伸び率は11.9%減と12ヶ月連続のマイナスとなった。電子デバイス(20.9%減)、電子計算機(11.2%減)をはじめ、上位12機種のうち11機種がマイナスとなった(4ヶ月連続で12機種中11機種がマイナス)。プラスとなったのは、乗用車(1.2%増)のみであった。  
 2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に携帯電話、電子計算機、航空機・部品等、医療機械、白物家電、受信変換・その他送受信機器、時計、TVの8機種となっている。  
 3)地域別機械輸入額は、全体の41%を占める中国(12.7%減)、ASEAN・南アジア(3.1%減)、北米(9.7%増)、EU(14.7%減)、韓国・台湾(17.7%減)、その他地域(17.0%減)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2016/8				2016/9				2016/10			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,001	▲ 13.2	12.0	携帯電話	2,571	▲ 3.3	13.5	携帯電話	2,412	▲ 3.3	12.7
電子計算機	1,420	▲ 24.7	8.5	電子デバイス	2,148	▲ 16.1	11.3	電子デバイス	1,992	▲ 20.9	10.5
自動車部品	1,021	▲ 1.4	6.1	電子計算機	1,561	▲ 20.4	8.2	電子計算機	1,565	▲ 11.2	8.2
航空機・部品等	997	▲ 10.2	6.0	自動車部品	1,108	▲ 11.4	5.8	自動車部品	1,153	▲ 2.9	6.1
乗用車	984	▲ 8.2	5.9	航空機・部品等	1,057	60.6	5.6	航空機・部品等	1,107	▲ 13.8	5.8
携帯電話	683	▲ 18.3	4.1	乗用車	941	▲ 3.0	4.9	乗用車	928	1.2	4.9
医療機械	637	2.7	3.8	医療機械	635	▲ 0.6	3.3	医療機械	608	▲ 5.6	3.2
白物家電	622	▲ 0.1	3.7	白物家電	521	▲ 23.6	2.7	白物家電	606	▲ 12.8	3.2
配電機器	504	▲ 4.4	3.0	配電機器	485	▲ 13.8	2.5	受信変換その他送受信	522	▲ 4.0	2.7
受信変換その他送受信	483	▲ 6.9	2.9	受信変換その他送受信	468	▲ 9.6	2.5	配電機器	499	▲ 8.2	2.6
その他の配電制御装置	386	▲ 3.7	2.3	その他の配電制御装置	377	▲ 16.2	2.0	その他の配電制御装置	379	▲ 7.3	2.0
コンデンサー等部分品	332	▲ 11.6	2.0	コンデンサー等部分品	337	▲ 16.9	1.8	コンデンサー等部分品	349	▲ 7.1	1.8
12機種合計	10,070		60.4	12機種合計	12,209		64.2	12機種合計	12,120		63.7

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械

・受信変換その他送受信:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等